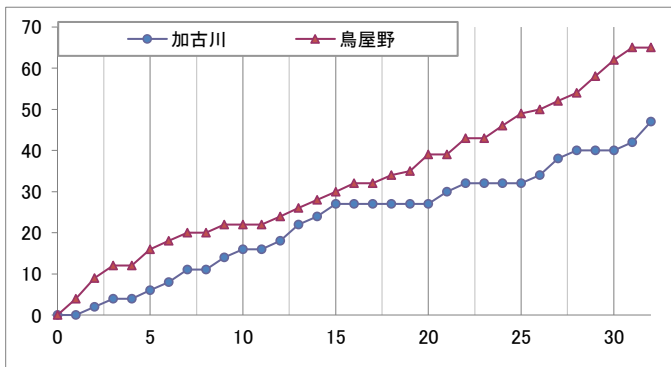




得点経過



大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会						
会場	福井市体育館						
日時	2016年8月23日(火)	12:10					
コート	F Bコート 第3試合						
カテゴリー	男子選Bリーグ第2試合						
主審	野々村 日希						
副審	関口 兼弘						
TEAM A	加古川 (兵庫)	TEAM B 鳥屋野 (新潟)					
<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: middle;">47</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="vertical-align: middle;">11 1st 20 16 2nd 12 5 3rd 14 15 4th 19 -</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">65</td> </tr> </table>			47	{	11 1st 20 16 2nd 12 5 3rd 14 15 4th 19 -	}	65
47	{	11 1st 20 16 2nd 12 5 3rd 14 15 4th 19 -	}	65			

BOXスコア

TEAM A		加古川						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	井上 塁登 (CAP)	×	20	2	7	0	1	
5	木下 侑也	×	11	0	4	3	3	
6	河原 宏紀	×	5	1	1	0	4	
7	草本 翼	×	3	1	0	0	0	
8	西川 直弥	×	8	0	4	0	3	
9	小谷 航平	DNF	0	0	0	0	0	
10	山村 星弥	DNF	0	0	0	0	0	
11	外内 楓	DNF	0	0	0	0	0	
12	荒木 開道	DNF	0	0	0	0	0	
13	藤本 光喜	DNF	0	0	0	0	0	
14	柳 楽斗	DNF	0	0	0	0	0	
15	若松 穰成	DNF	0	0	0	0	0	
16	村田 孝太郎	DNF	0	0	0	0	0	
17	村上 悠斗	DNF	0	0	0	0	0	
18	稲尾 凌	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	岩田 亮平							
合計			47	4	16	3	11	

TEAM B		鳥屋野						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	吉川 瑠 (CAP)	×	23	1	8	4	1	
5	青山 海斗	×	7	1	2	0	0	
6	大場 友裕	×	6	0	2	2	4	
7	丸山 宇宙	/	6	0	3	0	1	
8	五十嵐 力斗	/	0	0	0	0	0	
9	中川 諒	/	0	0	0	0	0	
10	板倉 輝成	DNF	0	0	0	0	0	
11	本間 志悠	DNF	0	0	0	0	0	
12	古山 貴斗	DNF	0	0	0	0	0	
13	渡辺 侑空	DNF	0	0	0	0	0	
14	小川 敦也	×	0	0	0	0	0	
15	成澤 頼	×	20	0	10	0	1	
16	品田 真吾	/	3	1	0	0	0	
17	山崎 悠真	DNF	0	0	0	0	0	
18	平岡 陸太郎	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	堀 里也							
合計			65	3	25	6	7	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

近畿ブロック2位の加古川と北信越ブロック2位の鳥屋野の対戦。まず鳥屋野が#15のゴール下での力強い3連続得点でゲームの流れを引き寄せようとする。一方、加古川も#5のベースラインドライブで反撃する。1対1を中心に攻める加古川に対し、テンポよくパスを回し攻撃を組み立てる鳥屋野。加古川がシュートを決めきれない一方、鳥屋野はオフェンスリバウンドをしっかりと決める。1Qは11-20と鳥屋野がリード。2Qに入ると、加古川#4、#6のドライブが決まり出す。一方、鳥屋野は3Pで一気に差を広げようとするが、シュートを決められない。加古川は、#4から#5や#8への合わせのプレーで、じわじわと差が縮まる。ここで、休んでいた#15がゲームに戻る。リバウンドの安定した鳥屋野が何とか27-32とリードを保つ。

3Qの入りはお互い厳しいDefでシュートがなかなか決まらない展開が続く。その我慢比べに、勝ったのは鳥屋野であった。足が止まり攻守の切り替えが遅くなった加古川に対し、鳥屋野の速攻が始める。加古川のシュートファウルを鳥屋野#4がしっかりと決めるなど、点差がじわじわ広がりに32-46と鳥屋野がリードする。4Q、鳥屋野はオフェンスリバウンドをことごとくマイボールにする。鳥屋野#7の3連続ドライブからのシュートなどで差が広がります。加古川も#4のドライブを中心に#7の3Pなどあきらめない攻めを見せたが、鳥屋野#16の3Pで万事休す。鳥屋野が47-65で粘る加古川を退けた。